

Sihuan Pharmaceutical (460 HK)

中国 / 医療 & ヘルスケア / 決算レポート

13 年第 3 四半期の業績は予想通り

2013 年 12 月 10 日

- 汚職撲滅キャンペーンの影響は小さい
- 有望薬の大幅な伸び
- CCV 市場でシェアを伸ばしている
- 強力な新薬の研究・開発力



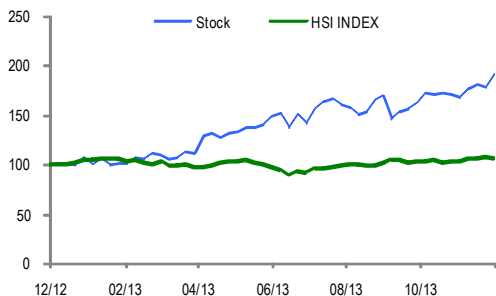
予想の修正 (%)

12 月 31 日決算	13 年度 予想	14 年度 予想	15 年度 予想
売上高の変更	N.A.	N.A.	N.A.
純利益の変更	N.A.	N.A.	N.A.
EPS の変更	N.A.	N.A.	N.A.

主な銘柄データ

52 週間の高値/安値	6.54 / 3.25
30 日間の1日当りの平均出来高	8.61 Mn
発行済み株式数	5,175.02 Mn
時価総額	33,534.16 Mn
主要株主	Che Fengsheng(59.2%)

株価パフォーマンス



主要財務データ

12 月 31 日決算	2012 年度	2013 年度 予想	2014 年度 予想	2015 年度 予想
売上高(100 万人民币)	3,043	5,498	6,871	8,547
伸び率 (%)	36	81	25	24
純利益(100 万人民币)	904	1,134	1,367	1,705
伸び率 (%)	10	25	21	25
EPS (人民币)	0.175	0.219	0.264	0.329
伸び率 (%)	10	25	21	25
PER (x)	30.1	23.5	19.5	15.6
DPS (人民币)	0.089	0.110	0.132	0.165
イールド (%)	1.7	2.1	2.6	3.2

出典: 会社データ、京華山一

最新情報

当社は昨日、Sihuan Pharm (Sihuan) の経営陣とアナリスト昼食会に参加した。

当社の見方

汚職撲滅キャンペーンの影響は小さい 経営陣は汚職撲滅キャンペーンの影響は小さいことを示唆した。学術界への直接的な販促活動ならびに外部委託による販売・マーケティングモデルのおかげでそのような政策リスクにより柔軟に対応できていることが、影響が小さいことに関して考えられる一因である。当社は、13 年度の純利益が当社の予想を達成でき、汚職撲滅キャンペーンの影響の最悪期は過ぎたと考えている。

有望薬を牽引役に市場シェアを伸ばしている IMS の病院購入データを基に、当社は Sihuan の有望薬、特に Oudimei、Yuanzhijiu、Yimaining ならびに Danshen が好調な伸びを維持し、Sihuan にとって重要な牽引役になったと考えている。また、GM1 の実績は 13 年第 3 四半期に改善したはずである。ナンバー1 プレーヤーである Sihuan の中国の CCV 市場におけるシェアは、13 年 1 月～9 月に 13 年上半年期の 8.85%⇒9.13%に拡大した。

同社の医薬品が主要 EDL(必須医薬品目録)への採用される可能性がある Kelinao ならびに Anjieli の広東省の拡大版 EDL への採用により、その販売量が倍増する可能性がある。近い将来に同社の主力薬がさらに 1 品目が主要 EDL に採用される可能性がある。

強力な新薬の研究・開発(R&D)力 Sihuan は現在、研究・開発を進めているクラス 1.1 の医薬品を 12、クラス 3.1 の医薬品を 58 抱えている。経営陣は、14 年度～16 年度に 3 つの一般ジェネリック薬を発売する予定であり、革新薬の発売は 15 年度からになる見込みである。CCV、腫瘍、中枢神経系、新陳代謝機能が重点的に研究・開発している治療分野である。経営陣は、そう遠くない将来にもう 1 つ国際的な研究・開発に関する提携を行えると見込んでいる。

免責事項: 本資料は、情報の提供のみを目的としたものであり、有価証券の売買の推奨を意図したものではありません。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。本資料は、信頼に足ると考えられる情報源を基にしておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料内で示す内容は予告無く変わる場合があります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)またはコアパシフィックグループの企業、同グループに関係ある個人は、本資料の使用または本資料への信頼に起因するいかなる法的責任も負いません。当資料の一切の権利はコアパシフィック山一インターナショナル(香港)に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平 14.1.25)」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。